

大阪市被保護精神障がい者等地域移行推進検討会議
(令和6年度 第1回 全体会議) 議事要旨

1 開催日時

令和7年1月17日(金) 14時00分～15時30分

2 開催場所

大阪市役所2階 会議室

3 出席者

(委員)

栄座長、堤委員、西浦委員、矢島委員、山本委員

(大阪市：事務局)

三方生活保護調査担当課長、横山生活保護適正化担当課長代理、新家保護課施設担当課長代理、田中係長、瀬川、小林、半田

4 議題

- (1) 大阪市被保護精神障がい者等地域移行支援事業について
- (2) 長期入院患者の状況
- (3) 当事業の実績報告について
- (4) 当事業における課題に対する取組みの報告について
- (5) 個別支援の報告について
- (6) 退院に結び付いた事例の報告について

5 議事要旨

事務局から地域移行支援事業の取組み(支援実績、退院事例等)を報告し、あわせて年間支援者数目標を現在の33人から令和5年度及び令和6年度実績をふまえた200人とすることを諮問し、委員から意見が出された。主な意見は次のとおり

- ・医療機関による退院支援の積極的な検討、精神保健福祉士の配置人数といった重層的な対応及び体制と、本事業が複重的に関わることで、退院していく状況が作れるのではないかと。
- ・今、退院後の施設入所は可能な状況にある。もうひと手間、連携の手段があればと感じる。
- ・支援者数ではなく、違う目標の設定も必要になる時期になってきているのではないかと。
- ・医療機関の主治医の意向や精神保健福祉士への説明などの確認作業の繰り返しが必要になるので、支援の質を担保しながら、医療機関等と共同して退院援助、退院支援を行うことが必要である。
- ・提案された目標数が、面談できる上限ではないかと。
- ・本事業による退院先として、様々な高齢者施設や居宅等を対象としているのは、とても望ましいことである。

以上